

世帯数 6.443

人口 29.049

男 13.730

女 15.319

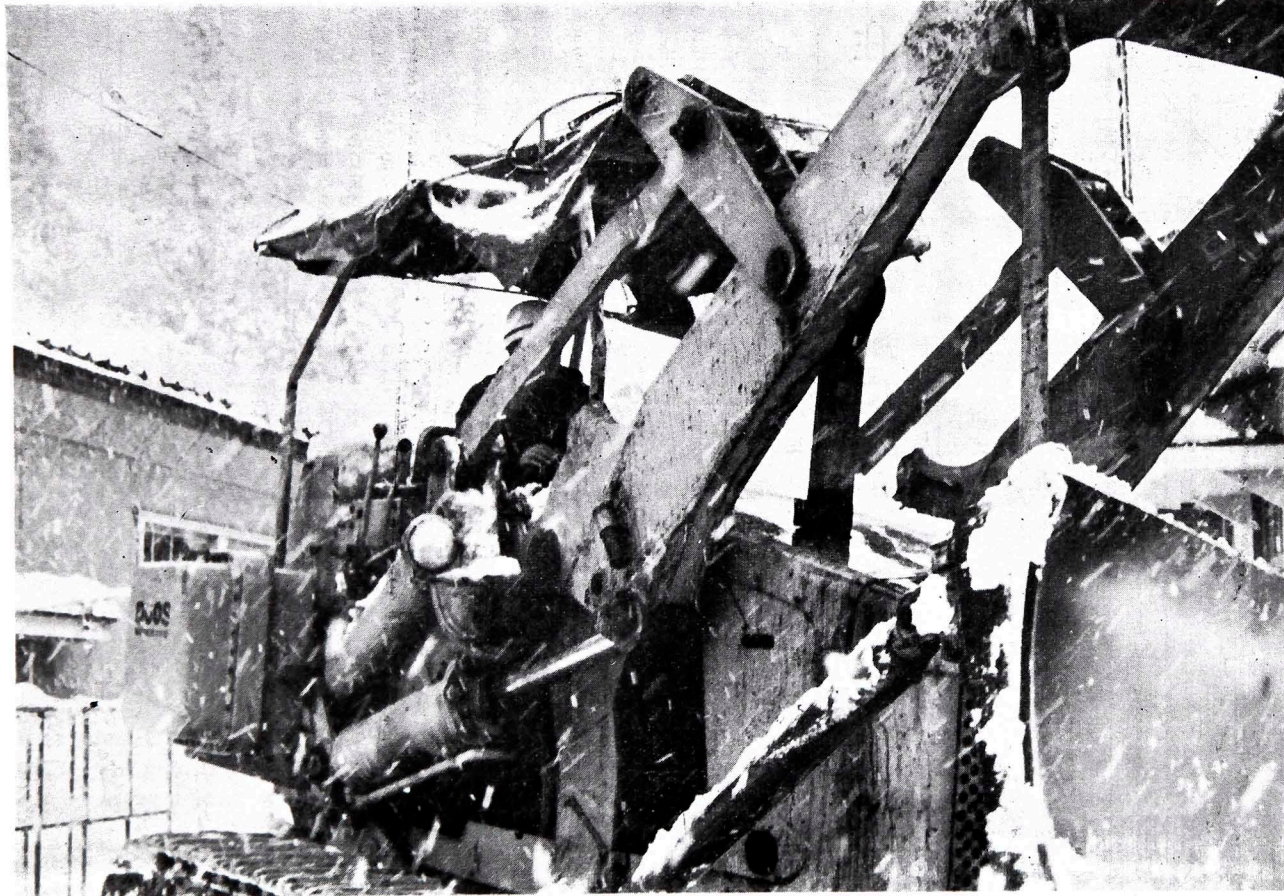
1月1日 住民登録調べ

老報 にわかうぜん

発行 富山県入善町役場
編集発行責任者 本田清治
印刷所 入善町田中印刷所

No.120

昭和42年1月20日発行



活躍つづける ブルドーザー

年明けから北陸地方を襲った雪はとどまるところを知らず降り続け、38年いらいの豪雪となって道行く人をふるえあがらせておりますが、この白魔から道路を守ろうと、町の建設課では課員を総動員し、ブルドーザーなどの除雪機械をフルに運転して懸命の努力を続けています。

ドドドドド……と豪快な響きとともにぐんぐん雪を押し除けていくブルドーザーの活躍は、私たちに限りない安心感と町建設のたくましい息吹きを感じさせてくれます。

降りしきる雪や冷たい風にもめげず、道路網確保の願いをこめてブルドーザーは今日も暗いうちから働き続けているのです。



健全財政を堅持

町長 米沢 甚吾



町民のみなさま明けておめでとうございます。

輝やかしい昭和四十二年の新春を寿ぎ得ますことは私の深く喜びとするところであります。

昨年中は町政に対し各方面から多大のご協力を賜り、お蔭様をもって所期の成果をあげてまいりましたことを厚くお礼申し上げます。

世界は今や平和を目標にいろんな面で画期的に進歩しております。しかしながら、南北ベトナムにおいて熱い戦争が続けられていることはまことに遺憾としなければなりません。

わが日本の国におきましては昨年の後半に入って景気を回復し、今年には明治百年を期して一大飛躍をとげる年であるうと私は深く期待しております。

富山県におきましては、新産業都市を中心いたしましたし、富山新港の開発がなされておりますが、今年の秋には五千トン級の船が入り、横づけになることができるといふことであり、これまたわが富山県の画期的な進歩の一端であると思ふから嬉しく思っております。

もどもに大きな飛躍を期待される年であろうと思うのであります。この年の年頭にあたりいささか所懐の一端を述べて見たいと思ひます。

まず第一に健全財政を堅持するということであり、借金をしない健全な財政は今までに引続いて今年も是非守つてゆきたいと考えております。

つぎに福祉町政を一層強力に推進したいと思っております。わが国が戦争に敗けて以来、民主主義国家として社会福祉が強く叫ばれているわけで、福祉町の実を一段と高めたい所存であります。

つぎは産業の開発です。昨年は、わが町からいまだかつてない良質の米が二十三万俵にもぼる多量の出荷がなされ

たのであります。これは、その量において、富山県の出荷量三百九十七万俵に対して大きな比重を占めるものであり、米作入善町の誇りを一段と強めたものでありまして、これも即ち、農業の近代化、機械化によりまして五割省力、二割増産を目標に努力した賜であり、今年にはさらにこれを推し進めてゆかねばならないと期待している次第であります。

さらに、中小企業の育成振興については東洋紡績は本年度にほとんどの機械を一新して、世界に冠たる東洋紡績の入善工場になるといふことを聞いております。

また、新和工業におきましては三月から第二工場の仕事が植音高く開始されることを期待しているのであります。すでに正月早々現在の工場の一部を改装して機械の運転が始められる筈であります。

なおまた、機械工業センター

の第六番目には、昔から町財政の大きな拠り所であった「クレハ紡績」という名が消えて、「東洋紡績」と合併したことを考え、第七番目には、北陸線の復線化が入善町……私たちの地域内において着々進捗を見、かつ入善以西の分については開通したといふことを挙げ、第八番目には、私たちの大先輩で三十年のキャリアを持つ岩田議員さんの急逝と、これに伴う議会議長の急逝と思ひます。第九番目には基盤整備事業に全町をあげて着々その実績を築き上げていふという事実を指摘したいと思ひます。最後に十番目として県下に先がけて国民健康保険の七割給付を実施したといふこと

これらの標題を十六ニュースといたしたいと私は大晦日に考

えたのであります。そこで私が申し上げたいのは、いわゆる十六ニュースといわれるものは、国なり県の段階では、その半数以上が非常に暗い面であったのでございますが、私たち入善町においては、今申し上げた事柄のうち一、二を除いては発展的な、前進的なことであつたことを皆様とともに喜びたいのであります。



住みよい 平和な町に

町議会議長 中易 清

おめでとうございます。

一九六六年いわゆる昭和四十二年も過ぎ去りまして、ここに昭和四十二年を迎えたわけであり

私はここに過ぎ去つた一年間をつぶさに眺めて見ると共に、いゆる入善町の十六ニュースは何かを皆様とともに検討したいと思ひます。

この十大ニュースの選び方には人それぞれに見方が違ひますが、私は第一番に米沢町長の三選を挙げたいと思ひます。

第二番目には非常に特異な出来事であり、町政刷新協の方々による町政の批判であらうと思ひます。そして第三番目には何と言つても本町が史上最高の供米を果した事であり、第四番目には、町民全員の浄財を集めて造られた中

におきましても不二越の飛躍と相俟つて今年は大飛躍の年であるとの工場主が非常に張切つておられるのでありまして、このように、わが入善町の三工場が活気に満ちており、今年は大きく飛躍する年であらうと思ひます。また、水産業につきましても昨年は近海遠洋漁業ともある程度の漁獲のあつたことは皆様方ご承知の通りでありまして、本年こそは昨年倍した発展を心から期待しております。

現に施工中の入善漁港も一日も早く完成し、ここにたくさん船が入ることを今から夢に画いているのであります。

そのほか町政各般について多くの問題が山積しておりますが心を引きしめ身を正し最善の努力を尽したいと念願しておりますので町民のみなさんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

こういつた四十一年を後にいたしましたので、新しい四十二年を迎えたのであります。

今年には新年早々総選挙なりあるいは、年始の大雪なり、ただ事でない年のように思われまが、それは、それなりに希望の持てる年でなからうかと考えます。どうか皆さんは私たちが町を真に住みよい平和な町とし、又建設のつち音高い産業の町、豊かな農業の町、活気あふれる商業の町として生々発展させるようそれぞれの立場においてベストを尽くされることを切望するものであります。

最後に皆様の健康と町の発展をお祈りして、年頭のことばといたします。

昭和四十年年度の

町政執行を解剖する

決算特別委員会の審査 結果報告のあらまし

町議会は、客年九月二十二日開かれた第十回定例会において昭和四十年年度入善町歳入歳出決算ほか六件の特別会計決算の認定にあたり、新町発足以来はじめてのケースとして決算特別委員会を設置することとし、谷雪枝、金沢太一、柚木春雄、柏原三郎、松田幸与作、上田義信、嶋田久之の各議員を委員に選任したので、委員会では嶋田委員を委員長に、柏原委員を副委員長に互選の上委員会を組織した。

十一月二十四日第十一回臨時会で決算の審査を付託された委員会は、十一月二十八日以来、書類審査をはじめ、これに伴う現地視察を実施するなど数々にわたり詳細に審査した結果を十二月二十二日開会の第十二回定例会に報告されたのでその概要をおしらせします。

十一月二十四日第十一回臨時会で決算の審査を付託された委員会は、十一月二十八日以来、書類審査をはじめ、これに伴う現地視察を実施するなど数々にわたり詳細に審査した結果を十二月二十二日開会の第十二回定例会に報告されたのでその概要をおしらせします。

決算認定の時期

決算審査の結果を次年度予算編成に反映させるため、おそくとも十一月下旬までに議会の認定に付し、十二月定例会において決算特別委員会の審査結果が報告されるよう、事務運営に努力されたこと。

審査の基本方針

審査は、町長より提出された決算ならびに、この審査にあたって監査委員から出された意見

書をもとにして監査委員より指摘された事項を足がかりにし、かつ、監査委員の意見を尊重しながら委員会の権限の中で予算の執行が議会の議決に従って公正適法かつ、能率的に行なわれ

たかどうかという観点から、行政効果が広く町民福祉に貢献したかどうか、財政構造の面で見られる変化をもたらした、将来いかなる形で影響し、それに対処してどのような措置がとられたか、などの点を審査の基本方針とした。

審査の重点と その結果

審査の重点事項として次の三つのことを取りあげた。

1 歳入は予算計上額どおり確保されたか、もし確保されていない場合はいかなる理由に基づくものか。

2 歳入欠陥または減少に際して歳出の執行をどのように処理したか、すなわち、事業の緊急度重要度に応ずる適切な措置がとられたか否か。

3 財政構造の変化、特色および将来の町政発展の方向はどうか、の三点であった。

審査結果報告書の内容は、町行政の各般にわたり綿密詳細になされた十九ページにのぼるものですが、審査の結果に照し、今後の行政の焦点をどこに置くべきかについて次のように指摘されています。

1 国県の委託事務が増えることによって、町費の継ぎ足しが

増嵩し、町財政を圧迫する傾向にある。当局は今後類似団体との協調を図りながら圧迫を排除しなければならぬ。

2 積立中の田中、米沢奨学基金は、貨幣価値の変った現在、寄附関係者の意志を生かし、積立金とせず、有効に利用されることが望ましい。

3 学校の備品充実に関する寄附金は極めて多く、当委員会では深く謝意を表すところであるが、今後は可能なる限り町費を以て備品を充実し、寄附金をなくするよう努力されたい。消防費についても同様である。

4 地方財政法の規定するところにしたがい、負担区分を明確にする立場を強調しつつ、県有建物の新築および、専ら国が利用する各種統計調査費、国民年金事務費についての町の負担を軽減するよう努力していただきたい。

5 町長交際費は節約を旨とし、渉外費の支出は有効適切に使用していただきたい。

6 将来の動向を洞察した町の長期建設計画ならびにその実現プランの立案が目下の急務と思料される。これがため強力な企画組織が必要であり、町長はこのことについて充分配慮すべきである。

7 町管住宅団地の造成計画策定と併行して、既設団地については緑地帯、集会場の設置を考慮していただきたい。

8 町立図書館の環境整備について検討を加える必要がある。

9 審査過程において、町長を

頂点とする役場機構の中において、町長と各課長との連けい、課長を頂点とする係長、係主務者、補助職員との連けい、面々往々にして不十分な点が見受けられた。

町長は、各課長によって集約整理された町民の要望を虚心坦懐に聴き、その上で最大公約数的な価値判断をしながら行政効果を高めるよう努力された。

10 本委員会の審査の中で、町長の議会に対する態度、いわゆる政治姿勢について大いに批判されるどころが多くあったのは事実であります。

議会は、町民の世論を代表する機関であるが故に、先ず議会の意志を誤りなく受け止める姿勢を堅持しながら、町長が常に言われる「反省し前進する」という言葉を身をもって具現されるよう要望するものである。

さらに、工場誘致事業特別会計歳入歳出決算の審査結果については、工場誘致は当局および町民の各種各様の期待をはらんでなされた大事業であるが、その期待を実現するには、将来極めて困難な道程が予想されることに鑑み、当初の契約書の精神が終始変らず、双方が信義と誠実の原則に基づいて計画実現に努力しているか否かについて審査にあたった。

その結果、現年度分については問題はなかったのであるが、第二期、四十一年度、第三期、四十二年度においても計画どおり工場建設等の事業が進められるよう、不断の努力を重ねられるよう要望するものである。

なお、将来の問題として次の諸点に留意されたい。

1 電力架線の幹旋に際してはあくまで幹旋にとどめ、町費支出が伴わないようにされたいこと。

2 機械工業センター、新和工業ともに敷地内に雑草が繁茂して町民に不快感を与えているが、敷地提供者の気持、ならびに町の意志を伝え、善処の措置を研究されたいこと。

衆議院議員選挙 1月29日 午前7時～午後6時

住みよい社会は正しい選挙から

ひとり残らず投票しましょう

衆議院議員選挙は一月八日に公示され、た
だいま激しい選挙戦が展開されており、た
こんどの総選挙は、新聞紙上などをにぎわし
た政界における一連の黒い霧ムード一掃のた
めにとくに重要なものといえます。
情実にとらわれることなく、真に尊敬する
人を、私たちのために働いてくださる人を自
覚と責任を持って選びましょう。

あなたの選挙権は

今年の六月二十日を基準日として、
全国の全一斉調査をもとに、
今までの名簿が永久選挙人名簿
としてカード化されることにな
りました。これは有権者一人一
人を一枚あてのカードにして永
久に保存するシステムのこと
です。

この制度によって、今まで選
挙ごとに作られていた補充選挙
人名簿がなくなり、永久
選挙人名簿に登録される時期は

毎年三月、九月の二回となり、そ
の他の月は登録されません。し
たがって今までのように、『満
二十才以上で入善町に三か月以
上住んでいて、登録の申し出を
すれば必ず選挙権がある』とい
えなくなり、また選挙
人名簿登録の申し出はいつでも
できますが、申し出をしなけれ
ば登録されないことになってお
ります。ただし九月には選挙の
職権により登録をすることがで
きることもなっています。

裁判官の 国民審査も

衆議院議員選挙と同時に最高
裁判所裁判官の国民審査の投票
も行なわれますが、その投票の
方法は次のように行なってい
ます。



このように、公職選
のため、こんどの衆議
院議員総選挙に選挙権
のある者として登録さ
れている者は昭和二十
一年十月十一日までに
生まれ、昭和四十一年
七月十日以前から本町
に住んでいる人となっ
ています。

をもらう方法もありますから
票をムダにしないで交付を受
けましょう。

証明書ができたなら、自分の
登録されている選挙人名簿の
属する市町村の選挙管理委員
会に、直接行くか郵便で証明
書を提出して、「投票用紙」
と「不在者投票用封筒」の交
付を請求すればよいので
す。

その際に指定病院長や
刑務所の長が有権者に代
わってこの交付請求をす
ることができ、そのとき
は証明書はいりません。

交付を受けた有権者は
自分の選挙人名簿のある
市町村選管か旅行先、滞
在地の選管、あるいは指定病
院、刑務所の中で投票し「封
筒」の表面に自分の名前を書
いて提出します。

この場合、点字投票、代理
投票もかまいませんが、投票
当日（1月29日）の投票終了
時（午後6時）までに自分の
選挙人名簿のある選管に届か
ないと無効になりますから注
意してください。

まず投票所に行きますと、衆
議院議員選挙の投票用紙と最高
裁判所裁判官国民審査の投票用
紙の二枚を同時に交付しますか
ら、投票記載所において白色の
投票用紙（衆議院議員用）には
衆議院議員候補者一人の氏名を
書いてください。
桃色の投票用紙（最高裁判官
国民審査用）には今回審査に
付される裁判官七名の氏名が印
刷してありますから、これらの
裁判官を、やめさせなくてもよ
いと思うときは何も書かず、そ
のまま投票してください。また
やめさせたいと思うときは、や
めさせたい裁判官の名まえの上
の欄に×をしてください。

不在者投票

投票日当日に、有権者が投
票所へ行って投票するのが選
挙の原則です。投票日にたま
たまやむを得ない用事で旅行
中だったり、病気やお産で歩
けない人、刑務所や婦人補導
院に収容されている人、自治
省の指定する交通至難の島な
どに居住、滞在中の人など
のために、投票日の前
にあらかじめ投票できる
制度があります。

これが不在者投票制度
で、公示の日（1月8日）
から投票日の前日（1月
28日）までがその期間で
す。

しかし最高裁判所裁判
官国民審査の不在者投票
は、1月19日からとなってい
ます。

不在者投票をしたい有権者
は、旅行の場合なら職場の証
明書がいります。「やむを得
ない用事の旅行」ですから親
光旅行は該当しません。病や
お産の人は病院の、刑務所な
どに収容中の人は、その長の
それぞれ証明書が必要です。
また滞在池の市町長の証明書

をまらなくては書いたりし
ますと
意していただく。

窓の意善

あたたかいご芳志を感謝いたします

入善町善意銀行

(12月1日～31日)

預託(寄附)	内容	舟見	愛場やい
入膳10区 米沢良吉	5,000円	歳末たすけあい金	5,000円
入善町連合婦人会	5,000	飯野 青年学級一同	2,070
入膳10区 児童クラブ一	1,500	東狐 青年団一同	689
荒又 匿名(女)	2,000	入善高校 生徒会	3,271
入膳 野田 晋	850	上原地区民生委員会	4,000
入膳地区青年団一同	5,000	入善町酪農組合	1,500
入膳7区 上田 安	1,000	入膳 寺崎平太郎	7,500
青木 森下ハツエ	783	入膳町連青 女子委員会一同	4,570
舟見小学校	4,614	入善高校 匿名	100
道市 匿名(女)	100	横山地区青年団一同	1,600
横山 亀田みつゑ	5,140		
東洋紡績 早崎民子	979	計 26件	87,933円
入膳地区青年会一同	1,567	入膳佐田正義 醤油110本	歳末助合品
入膳 米沢高明	1,200	入膳米沢良吉 菓子箱9箱	
入善町連青歳末たすけあい金	16,400	小摺戸若島友衛 太陽(雑誌)50冊	50冊
入膳 城地絹物技芸学院生徒一同	6,500	町内匿名(女2名) ケーキ1点	1点
		匿名(男) 衣類4点	
		計 5件	

歳末たすけあい金品の配分

町	内容	金額
1. 町内生活保護世帯(144人)		131,000円
2. 県内施設病院入所者(118人)	1人当り現金500円	
1. 町内生活保護世帯(64世)		133,900円
2. 町内施設 母子寮(7世)	1世当り品物500円(砂糖・食用油)	
3. 町内生活保護世帯(144人)	1人当り現金500円	
4. 県内施設病院入所者(120人)	1人当り品物220円(タオル石ケン)	174,960円
5. 醤油(佐田店)生活保護世帯母子寮へ配分	110本	
各地区	歳末たすけあい募金の配分金(町社協より交付)各地区において生保世帯要援護世帯に適宜配分	

なお 預託物品については寄附者の意志により配分

共同募金、秋季募金

ありがとうございました
入善町社会福祉協議会
(昭和41年12月15日)

共同募金	583,810円
歳末たすけあい	174,960円
歳末たすけあい募金は各地社会福祉協議会へ配分	
身体障害者	61,100円
社会事業年金	288,050円
県福社会館建設資金	58,380円
合計	1,166,300円

附記 昭和41年度募金総額 2,279,270円

日赤ほか春季募金1,112,970円
共同募金秋季募金1,166,300円

新有権者感想文 第一位作品

戦後二十一年。戦後っ子第二号の私達も、もう二十才。

これまでいっぱしの大人のような顔をしていたものの、いよいよ名実共に大人の仲間入りをしたのだと思うと何だか身の引き締る思いがします。かつて誰かに「やがて有権者になったらどんな人に投票する?」と聞かれ、間髪を入れずに「見た目の素敵な人」と笑いながら冗談に答えた事があるのを記憶していますがもうこれからはそんな無責任な事も言っておられなくなつたのだと思うと、何だか寂しいような、それでいて誇らしい気持ちでいっぱいです。

最近、「黒い霧」とかいって盛んに騒がれていますが、それを一つの事件として興味深く見聞きして単に「いやだなあ」ぐらいに思うだけで、一般の人々にはそれに対して、一般の人々にはそれに対して、激しい怒りをぶつけようとする意気が余りないのである。「仕方なく」そんな情性的な投票が余りにも多いようです。私も大きな権利である選挙権を真

達への生活にそのまゝ響いてくる政治を、誰のためでもない私達自身のための政治家を、一体このような情性から選び、その手に委ねて良いものでしょうか。これではあまりにも無責任ではないでしょうか。これからの社会を立って立つ私達新有権者は、率先して絶対にこういふ事のないよう、自分の考えで、はっきりとこの人だと思った人に

「実際に簡単な言葉ですが、これをいかに実践していくか」となる。明るく正しい選挙

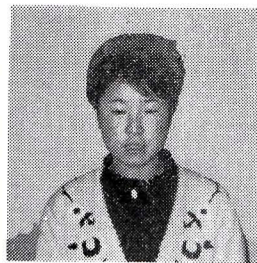
を機に、私達に与えられた最も

私達は、今日迎えた成人の日

有権者となつて

青木 川原弘子

という人々がふえてゆくにつれ、次第に明るく正しい政治が行なわれるようになるのではないのでしょうか。「明るく正しい選挙」を機に、私達に与えられた最も大切な権利である選挙権を真に価値あるものにするためには自分で選んだ人を常に正しい目で見守ることが必要だと思います。そして投票に際しては、他人に左右される事なく自分で正しいと思う人に誇りと責任とをもち、堂々と投票したいものです。それにはやはり家庭においても職場においても自由に話し合える場を作りながら討論しあい学習を積んでゆく事が肝要です。私達は若いのです。そして大人の世界ではまだ一年生なのです。先輩の方々の指導を仰ぎ、これからの人生を有意義ある素晴しいものにして、そう決意を新たにしたい





▼冬はやけどの多い季節

ことに幼児のやけどが多い。こたつ、かまど、火ばち、ストーブ、まほうびんなどやけどをおこすものが家中にあります。

熱湯をかぶったりしたら、着物の上からでも、冷水をかけ、すぐにぬがせて、食用油でもよいから、手早くぬってやりましょう。ひどかったらもちろんお医者さんへ。

▼水道管やポンプも凍る

急な寒波で水道管やポンプが

凍ることがあります。予防としては、外に出ている部分にわらかぼろぎれをまくことは常識です。万一凍ったときの用意に寝る前にバケツ一っぱいの水を用意しておきましょう。火災の場合にも役立ちます。

▼たまごのからの使い道

大きな入れ物にはいっている油を小さなびんなどに入れかえるとき、じょうごを使うとあとで油がとれにくく、やっかいです。たまごのからを半分にして底に小さな穴をあけ、じょうごがわりに使うと便利です。

▼高い魚より安い魚のほうが栄養がある

たとえば、あこうたい百グラムの中のたん白質は十六・四グラム。あじは二十グラムあるといわれています。ひものにしたあじには四十グラムも含まれているそうです。

たいよりいわしやあじのひものをたくさん召しあがれ……。かならず屋外に……

細田さんに
行政管理庁長官表彰

行政相談委員をつとめておられる東狐の細田清之助さんは一月十八日、総理府大講堂で、優良委員として行政管理庁長官より表彰されました。細田さんは、三十六年七月から六年間委員をつとめ、町民のお役所仕事に対する苦情の解決をはかってこられたものです。なお、昨年と一昨年の二回中部管区行政監察局長の感謝状も受けておられます。

月百円アツプ

国民年金の掛金

国民年金の掛金が一月から引き上げになります。百円が二百円に、百五十円が二百五十円と、それぞれ百円ずつあがります。また前納しておられる方も、百円の差額を納めていただくことになっております。

一方、国民年金の支給額も次のように改正されました。

- ▽老齢年金
 - ・二十五年間掛けた場合は月五千円(改正前は二千円)
 - ・四十年間掛けた場合は月八千円(同三千五百円)
- 障害年金
 - ・月五千円を支給 重い人は六千円
- 母子、准母子年金
 - ・十八才未満の子ども二人の場合は月五千円
 - ・十八才未満の子ども一人の場合は月二千五百円
- 遺児年金
 - ・十八才未満の子ども一人の場合は月二千五百円

四十二年十二月受付

おめでた(出生)

住所	保護者	続柄	なまえ
荒又	島 進	二女	亜希子
福島	森田伊成	長女	清美
舟見	小林和男	長女	小百合
芦崎	岡本勝春	長女	祐子
目川	林 勇	長女	優美子
浦山	新中易保夫	長男	信一
五郎	八飛島一郎	長女	昌子
吉原	浜岸利昭	長男	隆志
入膳	杉沢 茂	長男	衛
芦崎	木原 清	長女	香須美
藤原	神子沢一晴	二男	徹
入膳	田中為成	二女	直子
東狐	池原正一	二男	伸人
桐山	名取川清博	長男	英雅
小摺戸	舟根隆一	長男	光幸
入膳	杉沢利一	二男	隆弘
青木	川原徳之助	二女	富貴子
上飯野	上浦長二	長男	忠人
荒又	田又晴明	長女	京子
荒又	青木重一	長男	茂樹
青木	杉原光男	長男	博紀
小摺戸	小路正信	長女	明子
入膳	氷見 弘	長男	克久
東狐	林 秋道	長女	和代
荒又	青木 均	長男	賢

おくやみ(死亡)

住所	氏名	年齢	世帯主
横山	佐藤与一	長男	喜代志
入膳	扇谷 清	長女	直美
住所	松島いの	74	清
吉原	松原久松	41	幸作
上野	玉池流灌	60	本人
青木	松沢いさ	90	初次郎
新屋	永井あゑ	55	幸興
八幡	桐沢しげ	63	長一
中沢	高田繁松	76	本人
上飯野	石川一郎	53	本人
吉原	船田吉蔵	69	本人
下飯野	坂清次郎	85	本人
桐山	新原そよ	83	勝郎
東狐	竹田庄作	74	米作
入膳	小杉 中田久次郎	76	本人
小杉	入膳 上田 繁	37	本人
小摺戸	寺林みよ	74	文盛
島迷	江畑よし	75	幸吉
墓ノ木村	上ふて	60	武一
野中	清水よしえ	69	亀作
西中	水上盛居	67	本人
小摺戸	中村しん	84	定治
目川	杉沢ちい	85	幸興吉
下飯野	大川原久次	65	本人
新屋	寺崎さと	72	米次郎
五郎	八石原由次郎	79	本人
中沢	舟本安次郎	73	本人
舟見	魚津ちよ	88	本人
小摺戸	寺林長次郎	75	本人
今江	長原繁松	66	本人
小杉	松田吉次郎	78	本人
入膳	舟川岩次郎	73	啓次

新着図書

- 開発途上の国の子どもたち 日本ユニセフ協会
- 望ましき富山県民像 富山県 農業総覧 香月繁孝
- 富山バンククラブ隋想集 翁久允
- 富山県勢要覧昭和41年 富山県 人間への復帰 庭野日敬
- 東洋の心 鈴木大拙
- 新しい農村 朝日新聞社
- 日本語発音アクセント辞典 日本放送出版協会
- 原色植物図鑑 小学館
- 原色昆虫図鑑
- 世界の思想 5、7、19 河出書房新社
- 王朝貴族 世界文化社
- 家政学のための栄養学 村田希久
- パーベキューブック 佐藤良造
- イネ作機械化経営への道 丸杉孝之助
- 現代世界ノンフィクション全集 筑摩書房
- 吉川英治全集 吉川英治
- 日本の誕生 世界文化社
- 天皇ヒロヒト モズレー・レナード
- 門と扉1000集 集神谷正信